

微酸性電解水



HClO

微酸性電解水は1996年に発明されました。以来10数年、食品業界を中心に衛生管理が必要な多種多様な分野で徐々に浸透してきています。2002年に厚生労働省により安全性が認められ、食品添加物に指定されました。一般に使用されている他の塩素系殺菌剤と異なる優れた性質を持っているため、従来から使用されてきた次亜塩素酸ナトリウムなどに替わる殺菌剤として期待されています。

微酸性電解水の特徴

幅広い殺菌効果

細菌・カビ・酵母・ウイルス・細菌芽胞など

殆どの微生物を秒単位で殺菌します

素早い効果

食品添加物に指定されており、使用時に塩素ガスが発生しません

安全

食品などの味・色・匂い・栄養素に影響しません

対象に影響しない

水道水と同じように使え、使用後そのまま廃棄

すすぎ洗いは必要ない

ランニングコストは水道代よりやや高い程度

安価

切り花・生野菜など日持ちが良くなる。脱臭効果、カビの予防等

副次効果

多種多様、いろんな場面で気軽に使えます

使用用途

環境負荷が少なく、トリハロメタン (THMs) をつくりません

エコロジカル

微酸性電解水の性状

殺菌有効成分

次亜塩素酸 (HClO)

微酸性

pH5.0-6.5
(飲料水 : pH7.5位)

有効塩素濃度

10-30ppm
(飲料水 : 0.1-0.4ppm)

食品添加物

厚生労働省指定食品添加物
2002年

殺菌力

次亜塩素酸イオン(OCl-)
の 80 ~ 150 倍

他の殺菌製品との比較

	立可適 電解殺菌水	次亜塩素酸ナトリウム (漂白剤)	オゾン水	アルコール
有効濃度	>10ppm	>200ppm	0.3~5ppm	>75%
殺菌力	>漂白剤の80倍	中	強	中
金属に対する 腐食性	低	強	強	無
安全性	皮膚に対する刺激性がない、吸入しても粘膜を傷つけない、誤飲しても健康に影響しない	強い腐食性を持つ、使用中防護用具が必要、使用後濯ぐ必要がある	生成器から高濃度のオゾンが発生する、健康に深刻な影響を与える可能性がある	燃焼や爆発の危険性がある、高い脱水力があるため、皮膚に接触したら、乾燥しアレルギーにつながる可能性がある
毒性	無し	吸入或は誤飲不可	吸入或は誤飲不可	吸入或は誤飲不可
消毒スプレー の効果	有効	吸入有害	吸入有害	吸入有害

仕様と応用



生成器基本仕様

NeuKocyte Elite			
殺菌成分	次亜塩素酸 (Hypochlorous Acid)	起動方式	水流起動
殺菌水仕様	次亜塩素酸濃度 30ppm pH値 5.0~6.5	電解液	内蔵式
生成量	250 liter/hr. (連続生成可能)	生成器サイズ	L26 x D10 x H26 cm
消費電力	DC12V / 60W	生成器重量	2kg(本体)

生成機應用

